

平成 24 年度佐久市図書館協議会 会議録

日時 平成 24 年 7 月 5 日 (木)

午後 2 時～午後 3 時 40 分

場所 中央図書館 2 階視聴覚室

委員出席人数 10 名出席

○ 辞令交付

事務局： 6 月 1 日現在で、委員に変更がございましたので、佐久市図書館条例第 5 条第 3 項の規定により新委員に残任期間をお願いするものです。

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 自己紹介
5. 会議事項 (事務局説明、質疑、意見等要約)

(1) 平成 24 年度佐久市立図書館事業計画について

・平成 24 年度の事業計画事務局より説明

会 長： 平成 24 年度の事業計画が説明されましたがご質問があれば出していただきたいと思います。

委 員： 佐久市は合併して、各図書館が集まってできたので、当然だが、佐久市の図書館という、大きく 1 番の枠組みを作るというイメージでの事業計画の作成をしないわけですか。

相変わらず、各図書館の事業計画としての事業計画で、全体としての事業計画が見えない。

事務局： 各館が企画された部分、地域の特徴、文化の特徴を生かしながら、各館が考えながら事業計画を作成しています。

基本は、佐久市立図書館の全体の部分と各地域の図書館それぞれ

の特徴を考えて作成しています。

委員： 年間を通じて、各司書等のやり取り、すりあわせはスムーズに行われているのか。

事務局： 基本的には、毎月1回各図書館の司書と企画や計画に対して、話し合いをもっております。

委員： 事業計画を見たとき、地域の特性以前の問題として、図書館活動指針に対して、各図書館が微妙に違っているような印象として受け取れる。大きな佐久市の図書館としての活動方針が決められていて、その中で各地域の特色ある活動が出ているように感じられない。佐久市図書館として、大きな骨格がほしい。

委員： 「日本一あたたかな図書館」とあるがこれは、具体的な活動指針でなくて、佐久市図書館として、たとえば個別に5本柱があり、具体的なイメージの5本柱で活動するという点で捉えられれば、市民としても非常にわかり易いのではないか。

委員： イメージとして、ひとつの大きな骨格をつくる必要があるのかな。

委員： 図書館として、大きな活動指針があって、個別に具体的取組みがあれば良いと思う。

事務局： 委員の皆さんから良い意見をいただきました。次年度の計画作成に生かして参ります。

委員： 新たに取り組んでいただいている英語の絵本の読み聞かせは、内容はどんなことをされるのでしょうか。

事務局： 簡単な英語の単語レベルのものから、英語の歌を歌ったり、日本で作った絵本を英語バージョンにしたり、1回30分くらいを予定しています。前回は、アンパンマンの紙芝居を英語バージョンにしました。できるだけ親しみのもてるものを英語バージョンにしていこうと考えています。

また、佐久市には、色々な国の方が暮らしていますので、図書館には、母国語の本がありますよということも知ってほしいと考えて、まず、とっかかりとして、英語の絵本から始めてみようと考えました。

- 委員：音読者養成講座など、年間目標が昨年と変わらないものについて、この1年間内容も含めてどう改善するのかお聞きしたい。
- 事務局：今年の長野県図書館協議会の公共図書館部会の議題にもなりましたが、視覚障がい者に対しての具体的取組については、いろいろな機関と連絡をとりながら検討していきたいと考えています。
- 委員：音読者養成講座を受けた方が、次のステップのものが受けられることが必要でないか。
- 委員：電子書籍のサービスが図書館へ行けば受けられるというようになればいいと思う。
- 事務局：時代の流れではありますが、今後の大きな検討事項ではあります。
- 委員：図書館は、どのような音訳サービスを提供してきたのか伺いたい。
- 事務局：ボランティアの方が音訳した信毎の「斜面」のCDを9名の方に送付しています。
- 委員：読み聞かせボランティアグループの現状と今後の方向性を伺いたい。
- 事務局：昨年、会議をもったときの意見では、団体ごとの情報交換を十分やって、納得ができたときにネットワークができるのではないかとこの意見がありましたので、ネットワークとしてひとつにまとまって活動するには、まだ時間がかかるという状況ですので、昨年が続いて準備会という形で情報交換の機会をもって行きたいと考えています。

終了：15時40分

